

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	中野陣屋。県庁記念館周辺イルミネーション装飾事業
事業主体 (連絡先)	中野陣屋 光と音のシンフォニー実行委員会 (信州中野商工会議所内)
事業区分	主：⑥エ商業の振興 関連：⑥ア特色ある観光地づくり、③教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,990,490円 (うち支援金：2,945,000円)

事業内容

冬季の中心商店街への誘客対策としてイルミネーションの装飾を中心に各種イベントを実施。併せて、地元商業者のまちづくりへの参画意識を高めた。

- ①中野陣屋・県庁記念館周辺の及び地元商店のイルミネーション装飾
- ②地元高校生によるイルミネーションオブジェの制作
- ③長野県建築士会中高支部のまちづくりへの参加
- ④地元商店会との連携による誘客対策
- ⑤親子ものづくり体験教室の開催
- ⑥コンサートの開催



【点灯式】

事業効果

- ①中心市街地の誘客対策ができた。
- ②地元商店が自店をイルミネーションで装飾し、相乗効果を生むことができた。
- ③地元高校生の交流と地元貢献の場が提供できた。
- ④長野県建築士会中高支部のまちづくりへの活動の場が提供できた。
- ⑤商店会事業と連携することで相乗効果が得られた。
- ⑥市民参加が得られ、市民・商店街・高校生が一つの事業を行うつながりの場ができた。
- ⑦地元音楽家等の発掘及び発表の場を提供することができ、音楽都市としての魅力を発信できた。

【目標・ねらい】

- ①冬季の商店街の誘客対策
- ②中心商店街のまちづくりに対する意識醸成
- ③地元高校生のまちづくりの場の提供
- ④長野県建築士会中高支部のまちづくりの場の提供
- ⑤商店会との連携
- ⑥市民と商店街の協働実施
- ⑦地元音楽家の発掘と音楽都市としての魅力の発信

今後の取り組み

- ・さらに市民が参加できる事業に発展させる。
- ・核となるイルミネーション会場をつくり、商店街へ波及させる仕組みを作る。
- ・協力団体や地元商店街の協力体制を強化し、事業を発展させていく。

※自己評価【B】

【理由】

予定した事業が全て実施でき、主たる目的の中心市街地の活性化に寄与できた。
市民参加の事業ができ、イルミネーションを見に来る来街者が増加した。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある